



令和3年11月22日

広島大学教育学部造形芸術系コースの学生が、

原爆の図丸木美術館 学芸員・専務理事 岡村幸宣氏講演会
「丸木位里の原風景」

パネル展「丸木位里の足跡を訪ねる」を開催します

情報提供

丸木位里（1901-95）は、妻・赤松俊子（丸木俊）と共同で取り組んだ《原爆の図》の連作で知られ、昭和を代表する画家の一人です。

丸木位里の出生地である安佐町飯室には彼の作品が多く残されていますが、時が経つにつれ、画家と交流のあった人が少なくなっています。

今年度、プラットフォーム安芸飯室運営委員会、広島大学教育学部造形芸術系コースの多田羅 多起子准教授及び同コースの学生有志が「丸木位里と故郷・飯室 マップ作成、作品調査プロジェクト」を広島大学地域の元気応援プロジェクト事業として立ち上げ、丸木位里と飯室のつながりについて調査を行っています。

本プロジェクトの活動により、作家と故郷のかかわりをマップで可視化することは、地域住民にとって丸木位里の存在を再認識することになり、地元の作品保存につながります。また、地域への訪問者を招く手だてとなるとともに、平和について考える契機にもなることから、地域活性化と平和発信の双方に貢献することが期待できます。

このたび、丸木位里研究の第一人者である原爆の図丸木美術館 学芸員・専務理事 岡村幸宣氏をお招きして講演会を開催するとともに、プロジェクトの成果をパネル展示しますので、ご案内いたします。

日時：2021年12月18日（土）

講演会 13:30～15:00

パネル展示 10:00～17:00

場所：安佐公民館大集会室

〒731-1142 広島市安佐北区安佐町大字飯室 3455 番地の 1

【お問い合わせ先】

大学院人間社会科学研究科（教育学部造形芸術系コース）

准教授 多田羅 多起子

E-mail : tataratakiko@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

原爆の図丸木美術館 学芸員・事務理事
岡村幸宣氏 講演会

丸木位里の 原風景

参加無料

講演会は事前申込制(定員50名)

〆切 12月13日

受付 安佐公民館

Tel 082-835-0111

同時開催 パネル展示

「丸木位里の足跡を訪ねる」

制作 広島大学教育学部造形芸術系コース学生有志

飯室出身の画家・丸木位里研究を長く続けられている講師の方をお招きしてご講演いただきます。あわせてプラットホーム安芸飯室運営委員会と広島大学が共同でおこなっているプロジェクトの成果をパネル展示します。



2021年12月18日(土)

講演会 13:30~15:00

パネル展示 10:00~17:00

会場

安佐公民館大集会室

〒731-1142

広島市安佐北区安佐町大字飯室

3455番地の1



主催 広島大学教育学部造形芸術系コース学生有志 プラットホーム安芸飯室運営委員会

問合せ 広島大学教育学部造形芸術系コース 担当・多田羅 (Email: tataratakiko@hiroshima-u.ac.jp)
プラットホーム安芸飯室運営委員会 担当・免田 (Tel: 090-4579-8663)

詳しくは
造形芸術系コース
オリジナルサイトから
ご確認ください▼

